

4月29日

聖カタリナ・デ・シエナ おとめ・教会博士 (イタリア) 祭日

カタリナは1347年3月25日、神のお告げの祝日、イタリアのシエナにジャコモとラパ・ベニンカザの25人の子供の一人として生まれた。7歳の時、主に処女を守る奉獻をし、17歳で第三会員（聖ドミニコ信徒会）の衣服を受けたが、その大いなる徳と驚くほどの締結な生活で知れ渡ったのである。花婿キリストと甘美な会話をしばしば交わして強められたカタリナは、キリストの苦しみと痛手に与るものとされ、ついに1375年ピサにおいて聖痕を受けるに至った。

謙遜であると同時に偉大であったカタリナは人びとの心に、町々に、またイタリア共和国に、そして教会に平和をもたらし、フレンツェの使節としてアビニョンにまた赴き、教皇グレゴリオ11世にローマ帰還を勧めた。また大分裂の時にはローマに旅して教会のため祈り、助言を与え、自己をいけにえとして屠ったのである。地上の甘美なるキリストと呼んでいた教皇自身と、その職位に対する彼女の愛は無限であった。1380年4月29日、愛に焼き尽くされて帰天。1461年ピオ2世により列聖。

1866年、教皇ピオ9世により、ローマの共同守護聖人と宣言され、1939年、教皇ピオ12世によりアシジの聖フランシスコと共にイタリア第一の守護聖人と宣言された。また同教皇は1943年9月15日彼女をイタリアの看護婦の保護者と定めた。

1970年教皇パウロ6世により、アビラの聖テレジアと共に女性初の教会博士と宣言された。

遺体は、ローマの聖マリア・ソプラ・ミネルバ教会の高い祭壇の下に眠っている。

【聖ドミニコ会聖人・福者暦】

1982年、米国ニュージャージー州 サミットドミニコ会ロザリオの聖母修道院発行

1984年、ドミニコ会聖ヨゼフ修道院（瀬戸市東長根町）翻訳

2006年、ドミニコ会岡本哲夫神父（ロザリオ管区）による改定版から